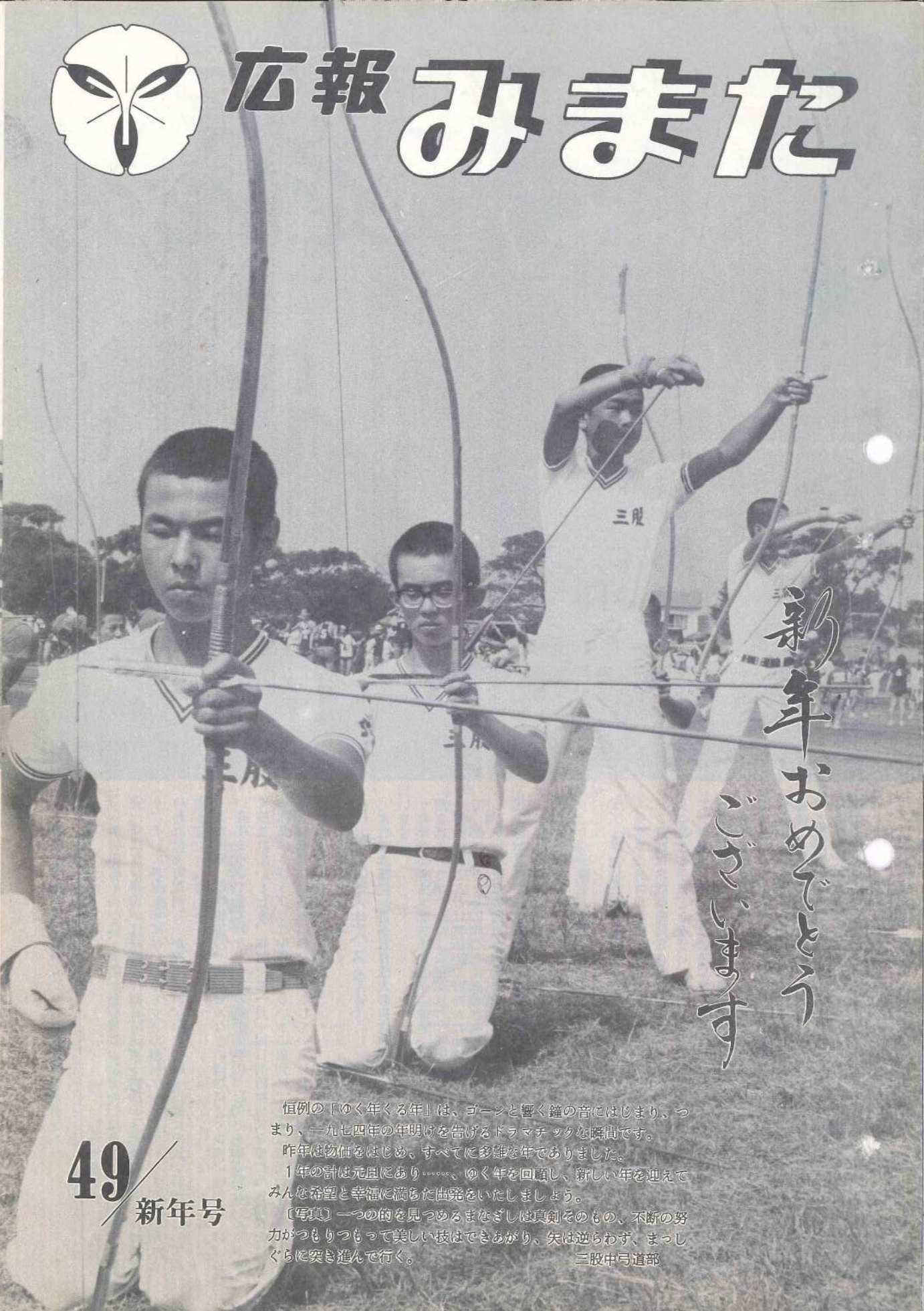




広報みまた



新年おめでとう
三股中弓道部

49

新年号

恒例の「ゆく年くる年」は、ゴーンと響く鐘の音にはじまり、つまり、一九七四年の年明けを告げるドラマチックな瞬間です。

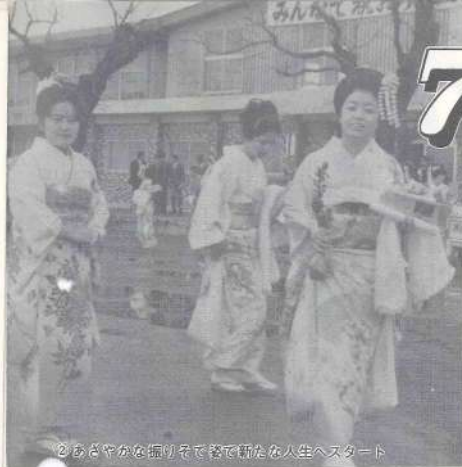
昨年は物価をはじめ、すべてに多難な年でありました。

1年の計は元日にあり……、ゆく年を回顧し、新しい年を迎えてみんな希望と幸福に満ちた出発をいたしましょう。

〔写真〕一つの的を見つめるまなざしは真剣そのもの、不断の努力がつもりつもりで美しい技はできあがり、矢は逆らわず、まっしぐらに突き進んで行く。

三股中弓道部

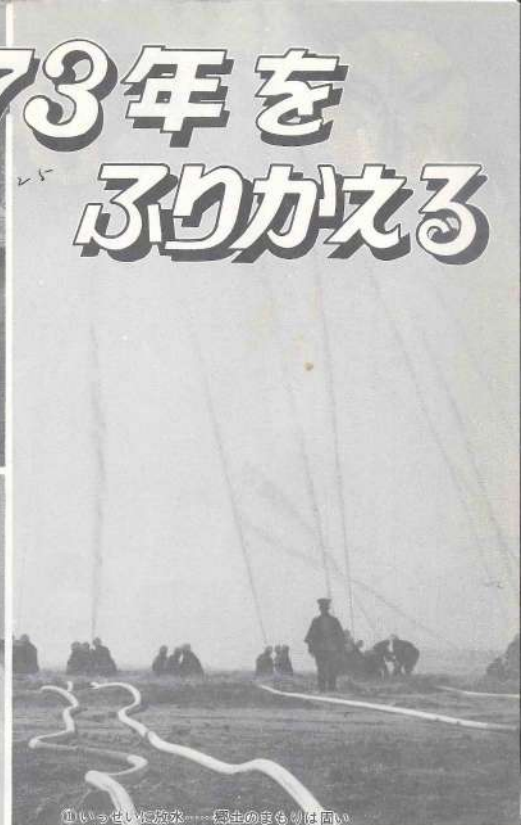
73年を ふりかえる



②あどやかな振りそで着て新たな人生へスタート



③色々な工夫して作りあげたタコを放って楽しむ子供たち



①いっせいに放水……消防士の度も勿論高い

① 三股町消防始め式

「消防出せよ式」は、消防が新年最初の演習を行なう式で、わが国では慶安一年に江戸幕府が江戸町民に対して火災予防のおふれをたじたのがはじまり、そして享保三年にはいわゆる文芸の題材にもなっている「江戸の華々」といわれた町火消しが編成され、いまでは全国的に町民の自治によって消防が確立されています。

なお近年、危険物施設、高層ビルなどの増加により災害の規模は、はげしい変化を示しており、一層の消防化学化、近代化を進め訓練の充実が強く望まれているとき、本町では一月十四日消防始式式を挙行清水消防長をはじめ団員のきびきびした動作と美しい水の放列に、見守る町民から歓声があがり、ゆるぎない誇りにみなホットしていました。今年も一月十四日実施されます。

② 新たな人生へスタート

本町では毎年一月十五日成人の日に成人者を祝う式典が盛大に行なわれています。

昨年は二百人、男性九十五人、女性百五人が成人式を迎えて、会場は、若さあふれる華やかな雰囲気につつまれて「夢と希望」でいっぱい。

男性のほとんどは袴広姿で身をかため、逆に女性はあざやかな振りで姿で、簡素化をよそに年々と豪華さを増しつつあります。

しかし、晴れの門出を迎えた成人者の顔々には、みな誇りと責任をもち文化のおおひろい笑みある平和な理想郷を築こうと、元気にスタートしました。本年度は男性八十四人、女性七十九人、合計百六十三人が成人者として祝福を受けることになっています。

③ タコあげ大会

「タコタコあげれ 天まであがれ！」

以前は学校から帰ると、先輩がナイフを使って自作する竹トンボ舟、タコなどの手はたきを受けながら楽しんでる風景をよく見かけたものです。しかし、最近ではこうした玩具はすっかり姿を消してしまい、店先で売っているプラモデルや既に巧妙に出来あがっている品物を買って使い古しはくすかごにポイ。

そこで、三股町子ども会育成指導者連絡(清水守 会長)では、子どもたちにも「もつと物を大切に、そして手近にある材料を使って工夫し、よごびを味わっていたらどう？」と、一月二十一日に「タコあげ大会」を行ないました。子どもたちが色々知恵をしぼって作ったタコは空高く舞い上がり、曲返りや急行下に見入っていた親もヒヤヒヤ。手作りの反省もよりしく、今年も冬休み中に竹馬大会もあわせて実施したいとほりきっています。

④ 婦人の地位と向上をはかる

婦人はもつばら家庭にあって、子どもの養育と家事に専念していた時代は過ぎて、今は、ほとんどの婦人が朝早くから社会のひととして重要なポストで活躍されていることは誠によろこばしい限りです。

しかし、現代を振り返って、経済社会の発達の際には、色々な矛盾が錯綜し、交通戦争をはじめ、公害など数えきれない大きな問題が目の前に横たわっています。

そこで、婦人連絡協議会では、町の環境整備に、こどもの教育に、そして老人の幸せのためは、婦人の手や眼から郷土を見守ろうと立ち上がり、二月十八日婦人の地位向上をはかる生活研究発表大会を町体育館で開きました。続いて二十八日郡大会、三月六日は県大会、いずれも本町の代表者から発表された体験と主張は好評をほくし、婦人の大会は年を重ねることに充実の一途をたどっています。

⑤ ひまわり・くるみ保育園開設

小さな子どもにも、のびのびと楽しく毎日を過ごさせよう、昭和三十三年中央保育所をトップに開設、以来、町の児童福祉施設は年々とも充実をを増して各地域に児童館、保育所あわせて十カ所に施設が完備されています。さらに昨年四月一日、ひまわり保育所(堀山)くるみ保育所(今市)を開設しました。

ひまわり保育所は面積二、二〇〇平方メートル、建物三四四、四八平方メートル定員六〇人、一方、くるみ保育所は面積二、二四七平方メートル、建物三四四、四八平方メートル、定員六〇人、入園して九か月を過ごした園児たちは、すっかり環境になじみ、こども天国とばかり元気にはしゃいでいます。

⑥ 「三股町讃歌」と「三股ばやし」がでまゝ

昭和二十三年町制が施行されて、丁度、十周年を迎えた昭和三十三年に「三股町民歌」と「三股音頭」ができました。それ以来、いろいろな集いやレクリエーションの場で歌い、踊り、こんにちへとつれて参りましたが、世の中がどんどん進み、福祉政策、公民館活動が盛り上がる中で、幸いに昨年は町制二十五周年の意義ある年を迎えて、町民の真のしあわせと、よごびの輪をさらに広げよう、と、新しくふるさと歌「三股町讃歌」と「三股ばやし」の二曲を五月に発刊。これからは郷土色たっぷりのこの歌になじんでいただき、いつまでも皆さんの心のふるさとにして下さい。



⑥三股町讃歌と三股ばやし



三股ばやし
三股町讃歌
明山村 編



⑤広々とした遊び場ときれいに出来上がったひまわり保育園



④婦人の地位を向上をはかるために熱心に討議された発表大会



12 自動電話開局にもうすぐ姿を消してしまふ磁石式交換機



11 近代的生活の姿をかためて完成した中央公民館



13 三陸中学校南側に完成した自動交換局



10 郷生の守りにつく消防自動車



8 皇を侍進する地元選手団



7 4月8日藝池269号線を都城へ通過される両陛下



5 月2日時の町をめぐりして巴次に行なわれた町植樹祭



10 町議会にて飯屋ダム反対を決議



9 「あすをきずく人づくり運動」後更に第2回実践会議で真剣に討議されました

⑦ 第二十四回全国植樹祭ひらかる

「八尋いづれを後世に……」
自然をまもり、環境をよくしよう、第二十四回全国植樹祭が四月八日霧島山麓夷守台に天皇、皇后両陛下をお迎えして行なわれましたが、本町でもこの意義ある行事記念し、五月二日長田宇尾佐川の町有林約三町歩にオヒシヤ、クマノ木を植樹しました。
なかでも、トップを切った槻山小は「郷土の木・樹木園」をつくるほか、学校造林コンクールにもみごと入賞。宮村小でも「植樹園」をつくり、そのほか部落のあちこちでも町中を緑一色にしようと、みんなが力をあわせ、人と自然の調和のとれた環境の保護、創出に相出し、植樹祭にふさわしい成果をあげました。

⑧ 第二十七回県民体育大会

「本町勢の選手が活躍」
力と技の祭典「第二十七回県民体育大会」は五月二十七日から三日間、都市宮崎上野球場を主会場に八市三町一村の各会場で熱戦が繰り広げられました。北諸郡代表は野瀬良平郡体協会長を団長に選手、監督を含めて百三十五人が出場、なかでも男子バレーボール、軟式野球に〇三股が出場、そのほか陸上競技、相撲、弓道、剣道、麻雀の各種目にも本町勢の選手が活躍。三股町のスポーツの真価を充分に発揮してくれました。

⑨ あすをきずく人づくり運動

「話しあおう、考えよう、行なおう」
四十八年度あすをきずく人づくり運動「モデル市町村の指定を受けた本町は、六月八日家語づくりなど活動の具体的な展開をはかるために六、六式討議などによる実践会議を開催。さらに十月十三日第二回の実践会議を開きました。実践会議の「町民憲章をいかにしるべきか、住みよい郷土づくり」は、公民館活動を中心にあつめる団体を通じて全地域におおされて、再びその実をあげているところですが、いよいよ来る二月十日には一年を振り返り「モデル町」にふさわしい指定の最後をかざる人づくり運動大会がはじまられることになっていきます。みんなが話しあひ、考え、そしてこの実践をさらに日常の実行にうつしましょう。

⑩ 絶対反対を決議

「飯屋ダム」
六月二十一日から七月十一日まで開かれた町議会六月定例会で町環境緑化条例は十六案と請願書四件、陳情書三件が上程、それぞれ議決されましたが、その中で特に八二名による「飯屋ダム建設計画中止に関する件」の請願書については、町議会でも、この重大性を重視して、特別委員会を設置。慎重に調査、審議の結果絶対反対の決議を行いました。決議文は、早速関係機関に送付され、さらに実現のために議長以下強力な運動を展開しています。

⑪ 中央公民館が完成

「郷土に文化の芽を……」
緑と静かな環境の中に、しよしやな中にも重厚さを秘めた中央公民館が完成。開館を祝して七月七日、町立病院・三股中学校の改装、五本松公営住宅八十六戸・塚原児童公園、そのほか都市計画・土木・農政関係事業の完成を含む総合落成記念祝賀会が盛大に開かれました。
町民の真の幸福を求めて建てられた中央公民館は、鉄筋コンクリート二階建、工事費七千四百万、広々とした図書館をはじめ、郷土資料室、講義室など自由に利用していただく和・洋会議室も、いまは毎日のように行中やギッシリ、郷土に文化の芽を、そして、心のオアシスとして、これからもご利用ください。

⑫ クモシモンク三股自動交換局完成

「開局は本年三月下旬」
本町には、現在普通電話二九九台、地域集約電話九五台、公衆電話三四台、合計一、二八四台があります。しかし、従来交換システムが自動化されていないために急用のときは不都合など不満の声が強く早期着工が望まれていました。
ところが、四十七年十二月要請に応えて工事に着手、既に三股中学校南側の敷地一、〇七二、〇三平方メートルに鉄筋二階建四二五、八八平方メートルの自動交換局が八月完成。交換機はクロスバー460型で四千台まで設置できる機能を持ち、土木・線路工事、電話機の取り付けも順調な運びで本年三月下旬からモシモンク自動化が開局することになっています。

⑬ 消防自動車四台を購入

「消防機動力の充実をはかる」
消防は人災天災を問わず不測の災禍に備えて、常に機敏な動作が要求されています。
現在、本町には清永邦雄団長以下百四十七人、町本部に指揮車一台、水そうポンプ一台、消防車一台のほか各部に小型動力ポンプ十二台を備えています。日頃、忙しい勤務のかたわら住民の生命財産の守りについでにたいしていますが、しかし、年々経済成長に伴って増えている災害に備えて、消防自動車四台を購入。八月三日ゆかに入庫式が行なわれた後、第一、五、六、七、四部それぞれを配置、消防機動力の充実をはかりました。殊る第一、三、四部も逐次配置して町民の安心できる消防の強化をはかることにしています。

73年をふりかえる



文化賞受賞式の全景



最近ころがしーハンドルよりむずかしい



田中町町政スタート... 日暮法親も丹念に



白い球を追って元気に競技することもたち



文化の日... 盆踊屋ほか多様な催しが盛大に行なわれました



向島を心と自派正典に宿る青年をめぐりて賞々と栄々



老人クラブ総会で功労者の表彰



向島を心と自派正典に宿る青年をめぐりて賞々と栄々

⑭ 青少年を守る球技大会ひらく

八月七日真夏の暑い日差しの中で、第四回青少年を守る球技大会が開かれました。

この大会は、防犯はもとより児童生徒が互いに親善を図り、仲良くしていただき、新学期に備えて元気な身体をつくっていただくことを期して開かれました。町内各校から小学生十チーム、中学生八チームが参加し、選手たちは地区の名誉と母校の名誉にかけて、日頃の練習の力を十分に発揮し、応援に駆け付けた父兄の熱ももって、夏休みの行事にふさわしい一日でした。

〔小学生の部〕優勝…夏井小、二位…長田、三位…堀山
〔中学生の部〕男子…優勝…勝山、二位…堀山
女子…優勝…山王原、二位…勝山

⑮ 五本松児童公園で踊りの輪をひろげる

八月十六日開かれた本町青年団連絡協議会（内田明広会長）主催の盆踊り大会は、今では町の年中行事の一つに数えられる楽しいものになってきました。

多忙な暮らしの中に賑やかな光が一つ……年々、お盆になるたびに、日暮法親からの報告も多く、軽快に中央に集まるスピーカーの響きに、この日も大人もつい浮かされて公園は満員。中央に集まったやぐらには各青年団員が入れば、浴衣姿の娘さん、ハッピーGの姿の若者、それにこの日も選手仲間入りして次第に輪は大きくなり、夏の夜を心ゆくまで満喫しました。

⑯ 田中新町政スタート

八月十九日町長選挙・二十一日当選証書交付式をして九月八日初登壇された田中康徳（五七）新町長は、東亜通文書院卒業後、宮崎銀行、森林組合長などを歴任。

「時代はあらゆる分野で新しいものをもとめている。これからは、より高い次元に立って住民との対話をすすめ、時代に適合する町づくりに努めたい」と町政の確立に立ち意欲とエネルギーを毎日注ぎ込まれています。

なお、さらに九月二十七日から開かれた第十回町議会（通称は田中町長）として初議会、初日に「対話のある町政」を進めることを公約とする施政方針を述べられて、より豊かな町づくりに最善の努力を傾注する所信の一端を述べられました。

⑰ 第十回三股町老人クラブ総会ひらく

九月二十日町体育館で開かれた老人クラブ総会は、つややかな顔の元気な老人で会場はいっぱい。今村恵孝会長の元気なあいさつにはじまり、日頃町のために、また、部落のために尽くされた方々に、表彰状感謝状の贈呈、ついでに年間会計の報告などがあり、会は順調に進められて終始若い人におとらぬ盛大な祭典でした。

九月現在、三股町の老人の数はつぎの通りです。

年	命	男	女
六五	六九	二六	二九
七〇	七九	二六	二九
八〇	九九	八九	一四九
九〇	九九	六六	一四九
合計		六五六	八三四

⑱ 小雨をついで力の祭典

昨年は「敬老の日」を祝して、とりよを交えた部落運動会を皮切りに、保育所・小・中学校の運動会があとこぼれ盛大に行なわれました。

それに、毎年球技と運動会を交互に実施している町民全員参加の体育大会（運動会）が「体育の日」に三股中グラウンドで開かれましたが、この日は小雨降るなか選手をはじめ地元から応援に駆けつけた観客でトラックのわりはいっぱい。年々、スポーツへの関心は高まり今年こそは優勝旗をおが部落へと……意気込みも強く、先ず各公民館、役員をはじめ、この日のために戦え戦えと選手団が大地を踏みしめ、力強く入場進行、ファンファーレや打ち上げ花火が大会の幕開けに花を添え、町民の集いにふさわしい力の「町民」祭典でした。

⑲ エネルギーで活気にあふれた

「ハネルギッシュで活気にあふれた」

⑳ 青年議会をひらく

社会の進展に伴って、次代になる青年への期待はますます大きくなっていきます。そこで、三股町青年連絡協議会では豊かな心と創意工夫に富む青年として、今後の方向を究め、さらにこれをもつていこうとすために、二月二十五日第一回の青年議会議場を開き、続いて十月二十一日第二回の議会議場を開きました。

㉑ 文化の日にて多彩な催しを

「文化の日にて多彩な催しを」

菊おたる十月三日（文化の日）は、本町でも多年、町のために尽くされた三氏一団体の功績をたたえる文化賞授賞式が盛大に行なわれ、さらにこの日を祝って全小学校PTAによる舞踊やママさんコーラス、バレー大会など多彩な催しが行なわれました。



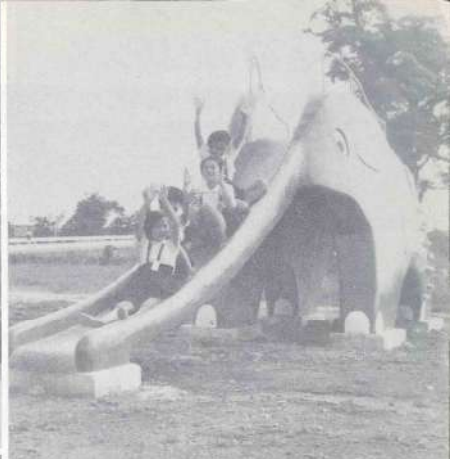
26 若さあふれる演技に……観客も存分に楽しむ



24 創立百周年碑を囲んでよろこぶ横山小児童たち



21 宮村児童公園の完成を祝して宮村小生による相撲大会



23 3月完成した陸原児童公園で遊ぶ子どもたち



25 畜産センター落成を祝して立派な牛が勢ぞろい



25 畜産センター全景



21 自動車電機(株)の議決に副印



22 交通安全会開催の場への中田町長

川原宗八氏(七二)は、農業技術者として指導にあたられたほか、町議会議員、農協理事など数多くの役職に奉職されて、農業の振興につくまされた。長尾イワ氏(七二)は、本町の婦人会長をはじめ、郡、県の婦人会長として永年奉職、そのほか母子、民生、人権、社会教育などの委員をつとめ、福祉社会の建設につくまされた。

なお、団体表彰として三股中学校創造部が受賞。文教三股に恥じない礼に始まって礼におわる剣道の道に徹し、自らの研鑽と数多くの大会での優勝は名実共に賞讃に値するものがあり表彰されました。

21 大鷲巢に宮村児童公園が完成

社会の進歩にともなって、交通やあらゆる事故が待ち受けているまよこの頃、こどもたちの遊び場は日に日にせせめがれ、不安はつづの一方です。そこで、こどもたちに安心して遊んでいただき、心身ともに健やかに毎日を過ごしていただくこと、十一月七日大鷲巢・御年神社境内西側に町立宮村児童公園が完成しました。

工事費三〇〇万円、公園面積四、〇四九平方メートルに象さんの滑り台、ブランコ、回転タワー、クライムネット、くまなどが置かれており、水道、ベンチ、便所照明設備も完備。周囲にはつつじなどが植えられて環境も満点。開園を祝して地元園児の運動会や宮村小生の相撲大会を見物する部属民も満悦。憩の場びらきにもさわしい落成式でした。

22 交通安全会議ひらく

死者一九九人、傷者六、〇八三人。この痛ましい数字は十月二十三日現在県下の交通事故による犠牲者の数です。

全国的には、死傷者の数は減少の傾向にあるといわれていますが、本県は逆にふえている傾向があり、そこで以前から事故防止をめぐり、道路の安全施設の整備、交通の規制や取締りを強化するなど積極的に取り組まれています。さらに交通事故を減らさない県民運動として、県下「交通安全会」の結成を呼びかけています。

本町では去る十一月八日中央公民館で「交通安全会」のすめ方について全体会議が開かれました。この会議で協議された事項は、これら各市区ごととそれぞれが達成していただき、「交通事故ゼロ」の部属にするために、「交通事故をおこさないために」一周知徹底と強力な運動を展開することとしています。

23 町民のしあわせを求めて

① 三工場を誘致

本町が誘致した工場は昨年三社を含めて既に二十社になりました。昨年の三社は先ず十月五日に聖天(株)宮崎工場が築地に落成、続いて十一月一日光陽電器(株)宮崎工場が同じく築地に操業を開始し、調子は十月十二日には横浜市に本社をもつ自動車電機工業(株)が誘致の調印を行って十一月十日新馬場・今市間の北側、敷地一一、七五五平方メートルに宮崎工場

② 横山小学校創立百周年を迎える

横山小学校が創立されたのが明治六年十月、丁度当時は徴兵制度、鎮台が設けられ、地租が改正されるなど、また中央政府の基礎が固まらず、征韓論がたがわね西郷隆盛が郷里に帰つたばかりです。

それから一世紀を迎えて、十一月十一日記念式典が盛大に行なわれましたが、この過程にはいばらの道を乗り越え多くの先輩を世におくり、立派に横山健児の団結精神が生かされています。

なお、現在ではますます校風と実力を発揮し、健康優良校、優良こども銀行、全国PTA優良団体など、数多くの中核表彰の栄誉に輝き、この式典を機に先生をはじめ、児童、父兄はさらに中央発展のために新しい世紀へとスタートしました。

③ 畜産センター完成

畜産振興を町政の基本方針の一つに掲げている本町では、十一月十五日町立病院東側に畜産経営や予防対策などを勉強する研修館(二百三十平方メートル)と、雨天時の審査場も備えた畜産センターを完成。総工費二千万円、敷地四千平方メートルには駐車場も完備されて、この日はセンター落成を祝しての品評会も併祝をみせ、畜産農家自慢の和牛や乳牛百三十頭が出場。「ヨカ施設ができました」と、語る中には、さらに明日への意欲が見られ、畜産の町をめざすにふさわしいスタートでした。

④ 第二回 三股町青年祭

「八坂町の強靱力に存分にたのしみ観客」

めざましい経済成長のなかで、一方ででは物価の上昇、公害、交通災害などの問題が大きくなり、さらに加えて都市への集中に伴う労働力の不足は深刻な一面もありますが、しかしながら本町の青年連協(連協長・内田明広・会員約二百人)では、新しい熱意と新鮮な気持で郷土に目を向けよう……とおお張り切り、年間をとって常に町のリーダーとなり、諸行事を計画、町勢発展への担い手として活躍されています。

十一月十七日催された第二回青年祭もその一つ、会員全員が力を合わせて舞台、照明も立派に整えられて、演技力も抜群、熱心に見入る観客も存分にたのしませてくれました。

年頭の挨拶

三股町長 田中康稔



町民のみなさん、新年おめでとうございます。

戦後二十数年の間、日本はあの敗戦の廃虚の中から意欲的な立ち上りを見せ、高度な経済成長は世界の目を驚かせるものがありました。が、世界の資源の枯渇はわが国の経済をゆきさぶり、重大な影響を及ぼすに至りました。資源の大部分を輸入に依存しなければならぬ脆弱な経済体質であるからであります。こういうわが国の持つ特異性に想いをいたし一人一人がここでじっくり深く考えねばならない時代と思います。

ところで政府は内外情勢に対処

すべく昭和四十九年度財政の基本的な在り方として総需要の抑制に重点をおく安定成長型をとるようであります。むしろとらざるを得ない情勢にあると言つてよいでしょう。こういう画期的な一大転換期にあたり、今迄の在り方に修正を加えやうといたすには異様な勇気を要する事は言待ちません。私共は三股の現実をがっちり把握し、常に皆さんとの対話を保ち乍ら、偏することなく、皆さんの意とする処を意とし、大所高処より物事を観、緩急の別をはつきりし対処していきたいと思つてます。

本年は「とら」の年であります。不動と勇氣をその象徴とするならば私は謙虚と誠実を心として、事に臨んで果敢にこれを行なうという決意をしなければならぬ年だと思つてます。明けゆく昭和四十九年が皆さんにとりましても最良の年でありますように心からお祈りいたします。

重責を心にふまえ 充実した福祉の町に

三股町議会議長 佐沢利乾



明けましておめでとうございませ

輝やかしい新春を迎えるにあたり、町民の皆さんのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

昨年我が国は、福祉国家を標榜して、大型予算により、その推進をはかる姿勢が見られましたが、後期に突如としておそった石油危機は、つりつあつた物価高、インフレに拍車をかけ、予想以上の苦難の中に暮れたようでありま

す。そのような我が国政治経済の推移の中に、私達の三股町におい

は、新町長による新しい町政がスタートいたしております。私共町議会議長は、三股町の意志決定機関としての町議会に席を置く重責を常に心にふまえながら、より豊かな町民の幸せを第一義として活発な議会活動に努力を傾注してまいりました。引き続き予想される多難な経済環境下に迎える新年にあたり、更に心を引きしめ、ひたすら町民の声を唯一の背景として、それを町政に反映せしめ、より充実した福祉の町三股町の町づくりに取り組みたいと決意を新たにいたしました。どうか今年も二層のご指導ごべんたつを賜りますようお願い申し上げます。私の新年のごあいさつといたします。

福祉だより

◇児童手当の申請は早目に

（八申請の受理は二月末まで）

児童手当制度は、児童憲章のつとに児童が心身ともに健やかに成長することを願つて昭和四十七年一月から設けられたもので、十八才未満の児童（三人以上）を対象とし、月額三千元が支給されることになっております。

当初の昭和四十七年は五才未満の児童を対象。昨年はさらに十才未満の児童まで延長、本年四月からは、いよいよ全面施行、即ち、義務教育就学児童まで範囲が拡大されます。そこで昭和三十四年四月二日以降出生された児童をもつ家庭では二月末までにれなく申請して下さい。

◇高齢者へ福音

明治三十七年一月二日から同三十九年四月一日までに生まれた人は、七十才にならなくても、本年一月から月四、〇〇〇円の年金が受けられるようになりました。これは老令福祉年金ですから収入によって制限規定がありますが、くわしくは国民年金係へお問い合わせください。

◇五年年金加入の道再開

（八年金九六、〇〇〇円）

二年後に月八、〇〇〇円の年金が受けられます。つまり、三年分の保険料をさかのぼって納め、今後二年間納めれば、権利が発生します。

加入できる人は、明治三十九年四月二日から同四十四年四月一日までに生まれた人。ただし、公的年金加入者やその受給者等は加入できません。

新種保険のお知らせ

今年の一月から定期保険と疾病傷害特約が新しく発売されます。みんな加入して明るく家庭を築きましょう。

◎定期保険のしくみ

- (1) 保険の種類と加入年令
五年満期定期保険（十五才から五十五才まで）
十年満期定期保険（十五才から五十才まで）
- (2) 保険金の支払
保険期間中に被保険者が死亡されたときに保険金が支払われます。従って養老保険と異なり、満期保険金はありません。
- (3) 保険料は加入年令によって異なりますが、養老保険に比べてグリーンと安くなっています。

郵便局だより

- ◎疾病傷害特約のしくみ
疾病傷害特約で支払う保険金は次のとおりです。
(1) 死亡保険金＝傷害により死亡したときは、保険金の十割
(2) 傷害保険金＝傷害により身体に一定の障害を生じたときはその程度に応じて保険金の一割から十割まで。
(3) 入院保険金＝疾病で二十日以上、または傷害で五日以上入院したときは、その入院日数に応じ（二〇日を限度）保険金を支給。なお、入院中に一定の手術を受けたときは、二十日を限度としてそれに加算されます。
- (注) 疾病傷害特約は、定期保険を除き全ての保険種類に付加することができます。

防犯だより

年末、年始は、とにかく人の心もあせりがちで、交通事故をはじめ火災や犯罪の多い時期でもあります。お互い家の内、外、身のまわりに注意して正月を楽しく過ごしましょう。特に外出したら次のことに注意して下さい。

- ▼スリ……買い物かご、袋、ハンドバックはねらわれやすい。
- ▼置き引き……自転車、荷台に荷物を積んだまま路上におかない。
- ▼自転車の盗難……カギを忘れず必ずカギをかけ確かめて下さい。
- ▼車上ねらい……ドアロックは必ずかけ、キーをつけてたまたまにしない。

国立門司海員学校

生徒募集



▼募集人員

高等科(修業年限二年) 約一〇〇名、本科司ちゅう科(修業年限一年) 約六〇名

▼受験資格

- (1) 年令 昭和四十九年四月一日で十五才以上十九才未満のもの
- (2) 学歴 中学校卒業以上のもの (但し四十九年三月中学校卒業予定のものを含む)

▼入試期日

- (1) 第一次試験 筆記試験(国語、数学、英語) 面接
昭和四十九年二月二十四日(午前八時三十分から)
- (2) 第二次試験 簡単な身体検査(第一次試験合格者のみ)
昭和四十九年四月九日午後一時から

▼願書受付期間

昭和四十九年一月八日から二月十六日まで
詳細は北九州市門司区白野江、門司海員学校教務課に問い合わせ下さい。

編集後記

▼一九七四年の年が明けました。おめでとうございます。昨年は石油危機をきっかけに上昇に拍車がかかった卸売物価は急騰、二十六年朝鮮動乱で上昇以来の、いわば戦時並みの大きな上昇幅となって实体经济に暗い難色を示し、不安な生活の中に年が明けてしまいました。

▼本号は、新しい年を迎えて、過去を知り、これからのわたしたちの郷土にさらに「いぶき」とを念願しつつ、「73年をふりかえる」特集にいたしました。

ここに掲載しているのはごく一部でそのほか県内初の環境緑化条例を設置、一月に老人医療費の無

料化、二月には体力づくり運動大会、七月一日から赤ちゃんの医療費無料、さらに増加する交通事故を未然に防ごうと春、夏、秋、年末年始の交通安全運動を実施、十二月十一日には明日の農業をにやうSAPによる町長を囲む座談会を開催、十六日町青年伝大会、同日町柔道スポーツ少年団結成、十八日町議会が開かれました。

人事では、五月七日佐沢利乾議長、上水肇副議長が再選、同月二十五日には永年無事故を願って奉職された中村英蔵支部長、原口利夫副支部長が勇退、後任には楠見吉雄(支部長) 飯田倫郎(副支部長) 両氏が就任されました。

泰平一家



1月の納税

県町民税	4	期
保険税	5	期

三股町の人口

12月1日現在

男	7,268人	+ 22人
女	8,180	+ 24
計	15,448	+ 46
世帯数	4,450戸	+ 11